

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年 3月 1日

事業所名 スタジオそら学芸大学

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6	1	限られたスペースを有効活用できるよう、各部屋のローテーションや実施プログラムについて事前の打ち合わせを行なっています	運動室内において、隣の活動が気になり集中できなかった際の療育士のスキルアップを行います
	② 職員の配置数は適切であるか	7	0	シフトの作成時に、お子様の特性なども考慮して配置を行なっています	今後も継続して実施
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	4	各所に写真やイラストを用いて、小さなお子様にもわかるよう視覚化を図っています	構造的にバリアフリーが難しい玄関等は、療育士がつくことで安全を守ります。また廊下につきまちは、入れ替わり時が最も混雑するため、保護者様へのフィードバック時間に療育士がお子様の帰り支度を予め行なう等の対応を行なっています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	6	1	療育終了毎に除菌を実施 療育道具の定期消毒	洗面台が大人仕様のため、小さなお子様にも使いやすいよう階段式のステップ台の作製するなど、お子様の自立を配慮した空間づくりを心がけています
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	7		半年ごとに、振り返りとモニタリングを行なう他、次の療育へと繋げられるよう、毎日の終礼時にその日のお子様の様子を共有しています	目標が曖昧にならないよう、終礼時の共有以外にも、担当療育士は前回の担当療育士と個々に申し送りを行なっています
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	7		定期的に保護者様との面談を実施しています	ご利用時に、療育のことだけでなく、園生活やご家庭でのお子様の様子を伺う機会を増やしたいと考えています
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	ホームページで公開を行なっています	今後も継続して実施
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7		第三者評価は行っていません
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		毎月、研修を実施しています	療育についてのスキル均等化を図るため、研修を行なっています。今後は、事例検討会等も取り入れながら継続して実施して参ります
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		定期的にアセスメントを行なうと共に、支援計画更新時には保護者様のお話も伺わせていただき、支援計画を作成しています	今後も継続して実施
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		スタジオそら独自のアセスメントツールを利用しています	今後も継続して実施
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		児童発達支援ガイドラインに示された支援内容を元に、お子様の発達段階に併せて支援計画を作成しています	今後も継続して実施
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		支援計画をもとに、日々のプログラム構成を行い、達成度と共にお子様の様子を都度記録しています	今後も継続して実施
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		スタジオ内で共有されているお子様の現在の状況をもとに、担当療育士が責任をもってプログラム構成を行ないます	今後も継続して実施
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		支援目標をさらに細分化し、段階を踏んで目標達成を目指しています	今後も継続して実施
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		集団生活でのお話も伺いながら、お子様に合った小集団プログラムをお勧めしています	今後も継続して実施
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝・昼・終礼で支援内容やお子様の様子を共有しています	今後も継続して実施
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		朝・昼・終礼で支援内容やお子様の様子を共有しています	今後も継続して実施
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		提供記録はその日のうちに作成し、達成度の確認と次回の課題も記録します	今後も継続して実施
関係機関や保	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		提供記録を元に振り返りを行い、担当した療育士の評価に基づいて次回支援計画の作成を行います	今後も継続して実施
	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		療育士からの聞き取りと記録データを確認し、参加しています	今後も継続して実施
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		相談支援や地域の福祉施設と連携し、お子様の様子を共有しています	今後も継続して実施
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	— (該当なし)	— (該当なし)		
㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	— (該当なし)	— (該当なし)			

保護者との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	支援にあたり他の利用機関(保育園・幼稚園・他施設)との一貫性が必要と思われる児童に対しては、保育参観をさせていただき、お話を伺わせて頂く等を行う	今後も継続して実施
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	お子様の就学時に、保護者様からのご希望によって所見書の作成を行います	今後も継続して実施
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		目黒区主催の学習会に参加しています。また、相談支援をご利用のお子様に関しては、定期的にお子様の情報共有を行なっています	今後も継続して実施
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		7		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7		めぐろhumanねつとに所属し、地域の子どもたち全般の情報共有すると共に、子どもたちの健全育成について話し合いを行なっています	今後も継続して実施
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		フィードバックで活動時間中の様子を伝えとともに、保護者様からも、療育時間中に気になったことや日頃の様子を伺っています	今後も継続して実施
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	2	5	プログラムの実施は行なっていませんが、保護者様から相談を受けた際に提案やアドバイス等を行っています	今後も継続して実施
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		初回契約時に必ず行っています	今後も継続して実施
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		更新の前月までには同意が得られるよう作成し、お子様の支援目標と課題の説明を行っています	今後も継続して実施
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		支援計画更新時に面談を行っています	今後も継続して実施
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5	父母会等の活動支援や開催は行っていませんが、待合室において保護者様同士の連携をとっていただくことが可能です	父母会は、開催のニーズがあれば検討を行います
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		相談事やお申し入れに関してはその場で対応させていただきます。面談を希望される場合は、待合室に面談希望票を設置しておりますのでご利用ください。	今後も継続して実施
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	3	スタジオそら全会員様に『そら通信』を毎月発行しています(ご請求書送付時に同封)他にも、ラインやホームページを利用して発信を行なっています。スタジオ内のイベント情報や小集団プログラムに関しては、毎月メールにて配信しています	今後も継続して実施
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7		鍵のかかるキャビネットにて保管し、退勤の際には施錠を行なっています	今後も継続して実施
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		お子様の特性によって伝達方法を変えています	今後も継続して実施
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5		実施予定なし
	非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		マニュアルを保護者待合室に設置。スタッフに対しては伝達研修を行っている
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		年に2回以上の避難訓練を行う	今後も継続して実施
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		フェイスシートに服薬等について記載されています。フェイスシートは、年度毎に書き換えを行なっています	今後も継続して実施
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	3	アレルギーについては契約時に聞き取りを行っています。エビペンの使用方法については事務室内に掲示し、全スタッフに周知しています。食品の提供を行わないため、医師の指示書の確認は行っていません。	今後も継続して実施
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		ヒヤリハットファイルの作成と毎日の終礼時に報告共有	ヒヤリハットの報告があった当日に、今後の対策についての話し合いを行なっています
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		定期的な伝達研修を実施しています	今後も継続して実施
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		お子様自身の心身の安全のため、やむを得ず身体を拘束することがあります。その際には状況を丁寧に説明し、保護者様のご了承を得られるよう努めます	今後も継続して実施

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。